

24前期\_英語系1年\_業界研究 I\_EF1\_鈴木美穂

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	学校で学んでいることをどのような企業でどのように活用するのかわかる機会を提供する。講座を通し習得したことを就職活動にいかし、内定へと繋げることを主な目的とする。また企業講演を通し各業種の理解を深め、授業への動機づけだけではなく、来るべき就職活動に向け視野を広げる。(非就職予定者も将来働かなければならない時に困らないようにしておくことも必要である。)	使用テキスト:キャリアガイドブック。プリント配布。専用ノートを作り、授業や講演会で指示がなくても今後の就職活動メモをとって情報を整理していくこと。ファイリングも社会人として大切なスキルなので普段から配布物は整理して保管していくこと。PCを持参すること。	毎回トライデントレポートにて学校内での予定を確認する。また、そこで伝えられたことを指示通り行ったり、期日までのスケジュールの自己管理を練習する。語学力が活かせる業界を多方面にわたって学び、視野を広げながら就職活動の準備ができるようにする。実際に企業の講演を定期的に聴講することで、緊張感を持ちながら準備を行う。一般常識やSPIに必要な学習も行う。	【専門知識スキル】:就職活動の準備に必要な知識を身につける。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、柔軟性等(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。ディスカッションを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、就職活動について自らの問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料配布は授業内とする。講演会ではメモを取る習慣をつける。【評価の観点】:就職希望者は業界への理解が深められているか。就職試験対策が行えるか。メモがとれるか。非就職者は留学など卒業後の進路を真剣に考えているか。【その他】:グループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:基本的マナーを含む各講の授業態度30% レポート提出30% メール送受信や電話応答20% ノート作成・スケジュール管理20%(必要出席率は学内ルールに沿う)進捗状況によって内容を変更する場合がある。就職関連講演会ではスーツ着用が求められる。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)ベーシックプログラムチェックテスト(2)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)(3)学生生活におけるメール確認や電話対応の重要性について(4)SNS利用時の注意	(1)いろいろな業界について知る。(2)就職活動の準備として新聞記事を読む必要性について(3)通常時の連絡網として必要なアドレスの確認、各講座へ提出課題を送信する場合の	(1)就職活動をする準備として、業界や自分自身を知る必要性がわかるようになる。(2)メール確認や電話対応の重要性がわかるようになる。	傾聴力	【授業運営方法】:アクティブラーニングを原則とする。小テストで理解度や授業態度チェックができるようにする。【持参物】メモを取る癖をつける為に筆記用具・ノートは必須である。講演を聴講する際はスーツ着用が原則である	課題提出は期限厳守。テストは予告する場合と抜き打ちの場合がある	
2	講演会1	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。就職活動に向けた企業研究のポイントを知る。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
3	(1)講演会の確認(ノートをとれているか)(2)ガイドブックP10-20自己分析(3)ガイドブックP22-23(4)ガイドブック24-50(5)参考資料読み「HWのデメリット」	(1)特定の業界について詳しく調べ。(2)一般常識対策(漢字)	ヒントをもらいながら、各業界について調べ、発表することで今まで未知の業界について学ぶことができ、就職活動の準備とすることができる。	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	個人作業とペアワーク等	〃	
4	(1)インターンシップと先輩訪問に関して(2)様々な業界の復習(3)p58-59今までの経験から「自己PR、あなたの強み」	〃	〃	〃	個人作業とペアワーク等	〃	
5	(1)Hyper QU(予定)(残り時間で自己PRの続き。講演会企業の事前研究)	HyperQUの意味・利用方法	後日返却される結果から、自分の特徴を客観視する。	自己分析	個人で取り組む	〃	
6	(1)講演会2	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。就職活動に向けた企業研究のポイントを知る。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
7	(1)講演会3	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。就職活動に向けた企業研究のポイントを知る。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	

24前期\_英語系1年\_業界研究 I\_EF1\_鈴木美穂

8	(1)具体的な企業を選び、自己PR作成・提出。(2)一般常識対策。	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(非言語)	特定の企業に対して、利用経験や説明会の内容などを基に志望動機を作成する練習をする。	主体性、働きかけ力、計画性	個人作業とペアワーク等	//	
9	(1)志望動機、自己PRの振り返り。良いところ、悪いところ。(2)筆記試験対策英語のことわざ。	(1)(2)就職対策	(1)志望動機、自己PRの良いところ悪いところを客観的に見ることで、自分の反省点に繋げる。	自己分析	個人作業とペアワーク等	//	
10	(1)面談(待っている間に面談実施)(2)非言語系SPI(3)講演会企業の事前研究	(1)2か月過ぎて、自身の現状を振り返る。	報連相の重要性	自己分析	個人作業とペアワーク等	//	
11	(1)講演会4	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。就職活動に向けた企業研究のポイントを知る。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	//	
12	(1)面談の続き(待っている間に課題実施)(2)非言語系SPI(3)講演会企業の事前研究	(1)2か月過ぎて、自身の現状を振り返る。	報連相の重要性	自己分析	個人作業とペアワーク等	//	
13	(1)講演会5	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。就職活動に向けた企業研究のポイントを知る。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	//	
14	スピーチコンテスト参加	2年生のスピーチを聞き、良かった発表者などのようなことがよかったか指定用紙に書いて提出する。	2年生のスピーチコンテストを聴くことで、発表者の良いところを分析し、次年度の自分の発表に繋げる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	//	
15	期末課題と解説	業界全体の理解を深める。	各業界を復習し、後期以降の就職活動準備に必要な知識が得られる。	課題発見力	個人で取り組む		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	「なぜ就職するのか?」、「会社に入ってから何をするのか?」、「何がさせてもらえるのか?」などを基本として、就職先を自ら見出すための実力を身につけることができる。先輩卒業生就職先の中から2~3社自分にあった企業をピックアップして模擬的に就職試験対応を行う事で経験を積む。それぞれに対応した履歴書、ESなどを作成、模擬試験、面接練習も行うことで対応力を備えることができる。	配布資料(オンライン授業の場合:画面上の資料)	《実務経験のある教員による授業科目》旅行業界での勤務経験のある教員が担当。「会社を選ばれる」のではなく「会社を選ぶ」ことができるように就職活動時に身につけておいたほうが良い基本的な知識を習得する。	【専門知識スキル】:業務、勤務、実務など基礎知識が習得できた後、社会人としてどう利用したら良いかが理解できるようになる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、計画力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料配布(閲覧)は授業開始時とする。課題の提出は終了時とする。【評価の観点】:説明を理解できているか。・質問に対して適切に回答することができるか。・協力して作業することができるか。【評価項目(評価の方法)】:受講時の理解度-10%、質問への回答-20%、小テスト-30%、期末テスト-40%。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【その他】対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性あります。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)、会社の組織について	・企業の組織を知ることにより社会の成り立ちを理解する	社会での基礎知識を理解することにより自身から踏み出すことができるようになる	働きかけ力	【授業運営方法】:質問をしながら進める。基本的な考え方については配布(閲覧)資料で行う。資料に記入することで理解度チェックができるようにする。		
2	企業研究	・企業の成り立ちを学ぶ	・企業とは、企業で働くことはを理解する	主体性	同上		
3	就職先選定 I	・業界の基礎知識、ランキング、その将来性などを踏まえて学ぶ	・企業の将来性、個々への適性を判断し自らの方向性を見極める	同上	同上		
4	就職先選定 II	過去5年間に遡って先輩の就職先に絞り込んで研究する	・先輩の就活アンケートを元に理解を深められる	同上	同上		
5	地場産業研究	・愛知、岐阜、三重に本社を置く企業研究	・身近な企業をターゲット化して分析する	同上	同上		
6	履歴書作成 I	・履歴書の書き方を学ぶ	・就職活動に必要な知識を学ぶことができる	同上	同上		
7	履歴書作成 II	・履歴書の添削、読んでもらえる履歴書を作成するための知識を学ぶ	・どの点を強調することで目に留まるかを理解できる	同上	同上		
8	エントリーシート作成 I	・エントリーシートの作成を学ぶ	・基本的な考え方及び作成の仕方を学ぶ	同上	同上		

24前期\_英語系1年\_就職研究 I\_EF1\_近藤俊則

9	エントリーシート作成Ⅱ	・エントリーシートの添削、読んでもらえるエントリーシートを作成する知識を学ぶ	・見てもらえることを意識したES作成ができるようになる	同上	同上		
10	業界別過去問Ⅰ	・一般企業(製造業、金融業、商社など)	・それぞれの業態に合わせた対応力を身につけることができる	主体性、対応力	同上		
11	業界別過去問Ⅱ	・観光企業(物流業、サービス業など)	同上	同上	同上		
12	業界別過去問Ⅲ	・外資系、その他企業	・外国語の知識を生かすことができる	同上	同上		
13	面接練習Ⅰ	・集団面接	・面接に臨む第一ステップを理解できる	同上	同上		
14	面接練習Ⅱ	・個人面接	・応用・発展させることができる	同上	同上		
15	まとめ(試験を含む)	小論文の作成を学ぶ	将来就職試験で直面する課題をあらかじめ習得する	主体性	同上		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
通訳や通訳案内士(ガイド)では的確な英語、正確な日本語を話すことが要求される。本講座では日本語で特徴的な表現を英語でどのように話すかを学んだ後、通訳練習する(通訳の基本訓練を用いる。英日のクイックレスポンスなど)日本語、英語それぞれの簡単なスピーチを作成し発表する	プリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。表現の比較を中心に日本語表現に引っ張られない英語表現を習得し、話せる様にする。英語独自の表現を利用してそれを実際の場面で通訳できるようにする。当授業では日英の共通点、相違点を確認でき、英語らしい表現についての基礎を学び、会話で使えるようにする。また、スピーチについては発話を活用できるようにする。	【専門知識スキル】:日本語解釈ができ、異文化ウを意識して英語的発想ができる。さらに話すこと、通訳ができるようになる。学んだことを使ってスピーチ作成ができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ、実行力することができる。スピーチ作成を通して確実意見を発信しながらテーマについて問題点を見出す能力を身に付けることができる	【受講ルール等】:資料配布はファイルにきちんと保存すること。課題の提出は授業時間内のみ受け取ることとする。【評価の観点】日本語解釈ができていないか、日本語表現に対して英語表現が正確に話せているか。スピーチが正しく書かれて話せているか。【その他】:ペアワーク、3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:授業参加度ー40%、スピーチ発表ー20%、期末テストー40%(期末テスト未受験の場合は、0点評価になる)。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)語順の違いを説明 (3) リピーティングやクイックレスポンスなどの発話訓練の説明	日英の語順の違いを画面で学び、口頭で言える様にする	異文化の理解、語順の違いが意識できるようになり、話すことができる	言葉で伝える力	【授業運営方法】:授業は書き、音読しながら進める。音読についてはクイックレスポンスで行う。ペアブランクティスで理解度チェックができるようにする。		
2	Be言語とhave言語	存在を示す英語表現を話す	英語の構文の理解、日本語の構文の理解。英文の並び替えができるようになる	主体的に働きかける力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	無生物主語の理解	人間が主体かどうかを考えて自然な言葉で話す	主語を明確に伝える事ができる	疑問を持って調べる力	〃		
4	来る、行くの表現法	come/goとの違いを意識して話す	〃	言葉で伝える力	〃		
5	スピーチ作成	学んだ項目を参考にしてスピーチ作成	日本語で主張する事ができる	積極的に考える力	〃		
6	後方重心型の日本語、前方重心型の英語	主体と行動の重点の置き方	英語の構文の理解、日本語の構文の理解。英文の並び替えができるようになる	発進力	〃		
7	日本語と英語のイディオム	よく似た表現、違う表現 1	ぼかし表現の日本語を明快に表現し話すことができる	整理力	〃		

24前期\_英語系1年\_英日表現&スピーチ\_宮村秀美\_実務家

8	日本語のイディオムを英語に直す	よく似た表現、違う表現 1	主語を明確に捉えることができる	考える力	〃		
9	カタカナ語とそれに対応する英語 1	よく似た表現、違う表現 2	文化的背景を知ることができる 1	柔軟性	〃		
10	英語に訳しにくい日本語 1	発想の違い 1	文化的背景を知ることができる 2	深掘りする力	〃		
11	スピーチ作成	発想の違い 2	英語でスピーチを構成することができる	整理し発表する力	〃		
12	スピーチ発表	学んだ項目を参考にしてスピーチ発表	主張を正しく伝えることができる	〃	〃		
13	カタカナ語とそれに対応する英語 2	発想の違い 3	文化的背景を知ることができる 3	書いてまとめる力	〃		
14	英語に訳しにくい日本語 2	発想の違い 4	異文化理解ができる 1	比較する力	〃		
15	まとめ復習と終了テスト	両言語の差異の再確認	異文化理解ができる 2	復習する力	〃		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
2年次は更なるスコアアップを目指す。1年次に習得したビジネス知識や、出題形式への理解を含めて、更に、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、実践的形式を行う。特に、強化した語彙力と基礎文法力をもとに、時間を書けずに解くべき問題が素早く正確に解ける技術の強化を図る。また、限られた時間内で正確に解く意識を授業内でも高めるようにし、タイムマネジメント能力を養う。	TOEIC L&Rテスト 200%活用模試	《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。テキストの練習問題を解答することで基礎を強化します。また、たくさん問題を解くことで応用力を身につけ、さらなるスコアアップを目指します。実際のビジネス場面を想定し、自ら発信できる能力を習得する。また、ビジネスを行う上で必要な語彙力を高めながら、ビジネススキルも身につけます。	<b>【専門知識スキル】</b> :1年次のTOEICのスコアから50から100点をアップできるスキルを身につける。ビジネスの場面で必要な英語表現を学習できる。自分の得手不得手を把握し、スコアアップに必要な攻略法が把握できる。 <b>【社会人基礎力】</b> :疑問を持って調べる力、実行力、復習する力、深掘りする力。練習問題の選択問題を勘で答えるのではなく、ある程度の根拠を持って答えられる力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。	<b>【受講ルール等】</b> :テキスト、辞書、配布プリントを授業に持参する。課題の提出は期限厳守、講師に直接提出すること。 <b>【評価の観点】</b> :・自ら理解を深めようとしているか。・分からないと言う間に、自主的に調べていたか。・発言した内容にある程度の根拠が存在するか。 <b>【その他】</b> :ペアワーク、3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。 <b>【評価項目(評価の方法)】</b> :平常点ー20%、授業外課題ー20%、小テスト合計ー20%、TOEIC IPー40% なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。 <b>対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。</b> <b>進捗状況により内容変更の可能性があります。</b>

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)近年のTOEICの傾向 (3)目標設定	TOEICの概要、近年の出題傾向。自分の目標設定。学習方法。	TOEICの最近の傾向を知ることができる。自分の目標を設定し、それを達成するために必要なことがわかる。	自主性、計画力、働きかけ力	<b>【授業運営方法】</b> :テキストの問題を解答する。解答解説を読んで理解を深める。ペアワーク、グループワークで音読や解答の解説などを行う。	授業内で講師が指定した課題に取り組んでくる。	
2	Part 1	模試Part 1、トレーニング編Part 1	短い文の中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できる。	主体性、働きかけ力	同上	同上	
3	Part 5	模試Part 5、トレーニング編Part 5	ビジネスに関する語彙を強化できる。	〃	同上	同上	
4	Part 5	トレーニング編Part 5	基本的な文法を理解できる。	実行力、主体性	同上	同上	
5	Part 2	模試Part 2、トレーニング編Part 2	短い会話の中で述べられている情報をもとに四天、目的、基本的な文脈を推測できる、暗示している意味が理解できる。	〃	同上	同上	
6	Part 2	トレーニング編Part 2	同上	〃	同上	同上	
7	Part 6	模試Part 6、トレーニング編Part 6	文書の中に散りばめられてた情報を関連付けることができる。語彙を強化できる。	自主性、働きかけ力	同上	同上	
8	Part 6	トレーニング編Part 6	同上	〃	同上	同上	

24前期\_英語系2年\_TOEIC対策\_L4\_高村優子\_実務家

9	Part 3	模試Part 3、トレーニング編Part 3	プレーズや文から話し手の目的や暗示されている意味が理解できる。	自主性、傾聴力	同上	同上	
10	Part 7	模試Part 7、トレーニング編Part 7	文書の中の情報をもとに推測したり理解したりできる。	自主性、働きかけ力	同上	同上	
11	Part 4	模試Part 4、トレーニング編Part 4	アナウンスやナレーションなどにおいて詳細が理解できる。また、話し手の目的や暗示されている意味が理解できる。	自主性、傾聴力	同上	同上	
12	Part 4	模試Part 4、トレーニング編Part 4	同上	〃	同上	同上	
13	Part 7	模試Part 7、トレーニング編Part 7	2つ以上の文書の中に散りばめられた情報を関連付けることができる。	自主性、働きかけ力	同上	同上	
14	Part 7	模試Part 7、トレーニング編Part 7	同上	自主性、働きかけ力	同上	同上	
15	総復習	リスニング、リーディングの応用問題を解く	自分の強みや弱みを把握して、それに沿った学習方法を把握できる。	自主性、働きかけ力、実行力	同上		

24前期\_英語系2年\_通訳演習 I (1)\_宮村秀美\_実務家

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
学年とともに学習内容は高度になり、通訳に必要な知識とスキルを身につける。業界ニーズを熟知した講師の指導のもと、本科目では、日常的なシーンの通訳をを通訳訓練を通して習得する。	英語リプロダクショントレーニングアドヴァンス編(参考書)及びプリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を中心に基本的通訳技術を習得する。当授業ではシャドーイング、リプロダクション、リピーティングをできるようにする。ノートテイキングについての基礎を学び英日訳が実用レベルで使えるようにする。また、日英訳については平易な文章を実用レベルで活用できるようにする。	【 <b>専門知識スキル</b> 】:ナチュラルスピードのパスセージが聞き取る事ができる。シャドーイングが容易にできる。メモ取りをして通訳ができる。情報を整理しまとめられるようになる 【 <b>社会人基礎力</b> 】:主体性、働きかけ力、実行力。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【 <b>受講ルール等</b> 】:資料配布物は整理整頓し自己管理とする。【 <b>評価の観点</b> 】:・英日、日英の通訳ができていないか。・メモ取りに対して正確に訳すことができていないか。・文章が正しく理解ができていないか。【 <b>その他</b> 】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【 <b>評価項目(評価の方法)</b> 】:積極的授業参加度-40%、通訳発表-40%、期末テスト-20% <b>対面授業とオンライン授業を並行する可能性がある。進捗状況により内容変更の可能性もある。</b>

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)通訳を行う為の基本訓練についての紹介	通訳訓練の基本4方法を説明	通訳基本訓練の理解 英日→日英の単文訳ができるようになる事	基本作業の実践ができるようになる	【 <b>授業運営方法</b> 】:通訳訓練はペアブラックティスしながら進める。 サイトトランスレーションについては個人で行う。 リプロダクションで理解度チェックができるようにする。		
2	(1)シャドウイングについて (2)リスニングの伸ばし方について	「講義」と「教えあい」で知識の定着)説明・発音チェック	シャドウイングの理解、リスニングのコツの理解。 声を出して速読ができるようになる	主体性、働きかけ力が身につく	【 <b>授業運営方法</b> 】:アクティブラーニング		
3	シャドウイングとクイックレスポンス	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	〃	〃	〃	
4	シャドウイングとクイックレスポンス 通訳基本訓練の理解	平易な内容を利用して文章のクイックレスポンス、	単語レベルから文章のクイックレスポンス出来るようにする	自主的に取り組む事ができる	〃		
5	クイックレスポンス(単語から文章へ)	平易な文章を利用して文章のクイックレスポンス	リテンションの練習をして、出来るだけ長い文章をレポート出来るようにする	発信することができる	〃		
6	リピーティング	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	単語レベルのクイックレスポンスが出来るようになる	〃	〃		
7	メモ取りの基礎練習	メモ取り、略語作成の基礎を学ぶ	英語を聞き取りながら内容をメモ化し、日本語に再生出来るようになる	〃	〃		
8	エスコート実習のための準備(予定)	意味のまとまりごとにスラッシュを入れ、頭ごなしに訳していく	頭ごなしの英日訳が出来る	集中力	〃		

24前期\_英語系2年\_通訳演習 I (1)\_宮村秀美\_実務家

9	実習(予定)	四間道の神社、仏閣を通訳する	実践を体験することができる	疑問を持って調べる力	〃		
10	スラッシュリーディング(1)	頭ごなしの訳	目で追いながら自然な日本語訳ができるようになる	柔軟性	〃		
11	スラッシュリーディング(2)	〃	〃	〃	〃		
12	ノートテーキング(1)	文章をメモ化して、訳す	文章をメモ化して、日本語に再生出来るようになる	積極的に働きかけ力	〃		
13	ノートテーキング(2)	メモ化しスピーチの訳出	〃	〃	〃		
14	スピーチ訳、実践	〃	〃	〃	〃		
15	総復習と筆記によるテスト	全体の復習	集中して取り組むことができる	集中力			

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
社会人として将来、どのような仕事があり、学んでいることとどのように結びつくかを知ることは授業への動機づけだけでなく、仕事への夢が形になって現実化できる一歩である。本講座では前期で学んだことをふまえて、卒業後の進路に必要な知識や情報を身につけていく。	各自で調べた資料、ノートなどが教材となる。前期に引き続き、ガイドブック、問題を解くためのノート(ルーズリーフ)やファイルは自分で用意すること。	後期は前期に見聞きした知識を整理することをはじめ、新聞記事などを通じて業界の動向をつかみ、就職試験の対策も行う。就職試験に出題される分野のうち、苦手な分野を重点的に解いたり、受験レポートを参考にして、就職活動への意識づけを行う。同時に就職活動を中心とした情報を収集し、本格的な活動に備える。	【専門知識スキル】:身につけた語学力やスキルを活かして就職先や進学先で必要な知識を習得できる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。グループワークを通して、主体的に行動し、各自が発信しながら、テーマの課題について問題点を見つけ出すことができる。「報告・連絡、相談」を通じたコミュニケーション力をつけることができる。	【受講ルール等】:資料配布は授業内とする。課題の提出は期限厳守とする。【評価の観点】:主体的に協働性を身につけ、課題に取り組めるか。【その他】:グループワークも適宜取り入れ実施。進捗状況や講演の開催等によって内容を変更する場合がある。【評価項目(評価の方法)】:課題を含む授業への取り組み40%、ノート整理30%、メール・電話による迅速な送受信30%。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点を行う。前期に引き続き、普段からの貢献度、報告・連絡・相談の度合いも就職活動に必要なスキルなので評価対象とする。状況によりオンライン授業になる場合がある。進捗状況によって内容を変更する場合がある。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目のねらい、到達レベル、講義計画書の説明 (2)志望系統、夏季中のインターンの聞き取り (3)就職(正社員になる)する意義(資料)	今後の就職活動に対しての準備方法を知る。	ガイドブックを用いて、計画性を持って行動する事、調べることの重要性などをあらかじめ認識することができる。資料を読み、漢字力やまとめる力をつけると同時に正社員として就職するメリットについて理解ができるようになる。	傾聴力		授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。志望系統未決定者:ワークシート	
2	・やりたくない仕事をやる意味。・損益算(復習)	特定の職種にこだわりすぎないほうがいい理由、苦手な非言語分野の前期内容を復習する。	資料を読み、就職活動に役立てる。非言語分野の問題の重要性を知る。苦手分野であればテーマ学習などで補強する意識を持つことができるようになる。	主体性、働きかけ力、傾聴力、課題発見力	【授業運営方法】:アクティブラーニングまたは個人作業	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
3	・グローバル生:留学を意味のあるものにするには・非グローバル生:留学をしない場合に身に着けるべきもの・敬語(尊敬語・謙譲語)	留学=遊学では、全く意味がなく、就職活動にも役立たないことを知る。	資料を読み、まとめる力をつけると同時に遊学で終わらせないようにするにはどのような意識でいるべきかが理解できるようになる。正しい敬語を使えるようにする。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
4	メールと就職活動、ポキャプラー不足、濃度算(復習)	今一度、「メールとのかかわり方」について考える。ポキャプラー不足による影響について考える	メールやポキャプラー不足について考えつつ、就活や社会人になったときに抱える問題点を理解し、何をすべきかを発見する。前期で扱った濃度算の基本が理解できるようになる。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
5	新聞を毎日読む意義と就活との関連性・速度算	新聞記事の切り抜きを用意して業界理解ができるようにする。苦手な非言語分野の学習を行う。	記事を読み、就職活動に役立てる。非言語分野問題の重要性を知り、解けるようになる。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
6	エントリーシートと自己分析・自分の経歴を顧みてアピールポイント(とその根拠)・一般常識問題(時事系)	ESの例をいくつかとりあげ、今の自分には何が不足しているかを発見する。普段から新聞などから時事情報を得る必要性を学ぶ。	サンプル課題に取り組み、本番にそなえることができるようになる。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	

7	就職試験対策・二語の関係・語句の意味・語句の用法	就職試験などに頻出の言語系問題について知る	就職試験を種類別で解き、苦手な場合はテーマ学習などで補強する意識をもつことができる	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
8	就職試験対策・推論・場合の数・確率・集合	就職試験などに頻出の非言語系問題について知る	同上	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
9	志望する企業を想定したESを書く	本格的準備の準備を行う。	具体的な企業を意識することで本番が近づいていることを意識することができる。	計画力、課題発見力	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
10	企業による講演(未定)	就職活動に必要な講演を聴く。	就職活動に役立てることが出来る。	計画力、課題発見力	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
11	合同企業説明会への準備と資料まとめ(1)	後期終了後に実施される説明会に臨むための準備をする。	企業説明会参加の心構えができるようになる。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
12	就職試験で問われる言語能力検査(総合)	就職試験などに頻出の言語系問題について演習・解説	ことわざが日英の両言語で理解できるようになる。就職試験における英語問題について知ることができる。	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
13	就職試験で問われる言語能力検査、英語能力検査(総合)	〃	〃	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
14	就職試験で問われる非言語能力検査、英語のことわざ	就職試験などに頻出の非言語系問題について演習・解説	〃	〃	〃	授業内にできなかった場合は宿題になる。期限を守ること。	
15	合同企業説明会への準備と資料まとめ(2)	後期終了後に実施される説明会に臨むための準備をする。	企業説明会参加の心構えができるようになる。				

23後期\_英語系1年\_就職研究Ⅱ\_EF1\_河合加奈代\_実務家

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	志望する業界・職種・企業を意識した就職活動が行えるよう、事前準備を行い、主体的にスムーズに移行できるようにする。	(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN	《実務経験のある教員による授業科目》企業で人事・採用を経験した教員が担当。就職活動の流れ、傾向、身だしなみ、マナー、ESや履歴書の考え方・書き方、面接の形式と模擬面接の実施を行う。企業が求める人材を意識しながら習得する。	【専門知識スキル】:1. 学校で培った専門性や自分の理想像が何か知る。その上でそれを生かした企業や職種への就活を行う。2. 近年の就職スケジュールと傾向を理解し、活動時期と企業が求める人材を理解する。3. 面接の基本動作ができる。4. 今後始まる就職活動を、主体的にスムーズに移行できるようにする。 【社会人基礎力】:社会人基礎力を身につけることが、企業が求める人物像であることを理解する。就職を研究することで、自身が求められる人材になるために必要な要素や能力を考えることで身に付ける。	【受講ルール等】:(1)使用ワークブック、配布プリントは必ず持参する。(2)課題の提出期限は原則として授業開始時であり、積極的に取り組み、期限を守ること。指定された期限までに提出できない場合は、みずから提出の姿勢を見せ講師の指示に従うこと。(3)欠席・公欠(遅刻早退含む)に関わらず、授業の進捗や提出物の期限・有無をみずから確認すること。【評価の観点】:詳細は受講ルール、評価項目を参照。【評価項目(評価の方法)】:(1)授業への取り組み姿勢(授業内課題、配付資料の理解度)…40% (2)課題の提出及び提出物の内容の充実度・完成度の評価…40%、(3)出欠点…20%、以上の(1)(2)(3)をもとに、態度(含身だしなみ)不可のものをマイナス評価したうえで、最終的にABCF評価。【その他】:対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性あります。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)(2)前期の復習と後期の課題	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(2)9月以降にすべきこと、注意点	科目の狙い、評価基準、秋から春にかけて、就職活動の動向と、前期授業の繋げ方が理解できる	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
2	(1)就職活動の流れ(2)就職活動のルールと諸注意(3)就活サイト登録とキャリアセンターの利用(4)履歴書用写真とメイク、髪型、身だしなみ	募集のタイミングを逃さない就職活動と準備。内定・内定辞退・内定承諾。キャリアセンターの活用方法。履歴書写真のポイントと業界による身だしなみの違い。	就職活動の全体的な流れをつかみ、自身の就活スケジュールへ落とし込むことができる。	主体性、働きかけ力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
3	(1)自己分析で考えるポイント(2)自己紹介・自己PRの作り方(3)自己PRの作成	就職活動における自己PRの重要性。自己分析と自己PR。採用側視点に立った自己PRのポイント。	自己分析や他者からの評価により、自分自身を理解し、長所短所、アピールポイントを整理する。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、柔軟性	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
4	自己紹介・自己PRの作成2	就職活動における自己PRの重要性。自己分析と自己PR。採用側視点に立った自己PRのポイント。	自己分析や他者からの評価により、自分自身を理解し、長所短所、アピールポイントを整理する。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、柔軟性	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
5	(1)ガクチャで考えるポイント(2)ガクチャの作り方(3)ガクチャの作成	就職活動におけるガクチャの重要性。採用側視点に立ったガクチャのポイント。	職種特性・企業が求める人材を理解し、自己分析からガクチャが作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
6	志望業界・企業・職種	自己分析をもとに、志望業界や企業・職種を探す	企業選びに必要な要素を意識し、就職活動へ繋げられる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
7	(1)志望動機で考えるポイント(2)志望動機の作りかた(3)志望動機の作成1	志望動機とは何か。志望動機の作り方。志望動機の構成要素。	企業特性や求める人材・空港特性を理解し、志望する根拠が何かポイントを理解し作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		

23後期\_英語系1年\_就職研究Ⅱ\_EF1\_河合加奈代\_実務家

8	(1)履歴書の書き方 (2)エントリーシートの書き方	履歴書記入時のポイント、注意点について。ESとは。ESと履歴書の違い。ESの実例。ESでは何が見られるか？ESの質問例。ES記入上のポイント。	就職活動の本番で応募書類として適用する水準の履歴書(基本型)が作成できる。採用側の狙いを含め理解するとともに、印象的で分かりやすいESの作成を行えるようにする。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
9	エントリーシートの作成1	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
10	エントリーシートの作成2	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント	履歴書・エントリーシートの提出	
11	(1)情報収集のポイント (2)キャリアセンターや就職情報サイトの利用 (3)求人票の見方 (4)企業訪問時のマナーと身だしなみ	就職活動の情報源。企業研究シート作成の方法。情報の活用方法。各種状況に応じたマナーと身だしなみ。	情報の収集方法とまとめ方、活用方法が理解できる。社会人として求められる身だしなみとマナーを習得する。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、状況把握力、規律性	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
12	(1)面接試験の形式 (2)面接のポイントと注意点 (3)面接でよくある質問事項1(4)WEB面接の注意点とポイント	面接形式の種類と特徴。面接で評価されるポイント。一般的な質問例。	面接の形式や質問内容は、すべて企業側の意図があることを理解し、それを踏まえた回答を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
13	面接でよくある質問事項2	一般的な質問例と回答例。	面接の形式や質問内容は、すべて企業側の意図があることを理解し、擦れを踏まえた回答を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント	質問回答の提出	
14	面接練習	グループディスカッション	性格や価値観、リーダーシップ能力、論理的思考力、協調性、コミュニケーション能力などを意識し、実践できる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		
15	面接練習	入退室の方法、お辞儀、着席、姿勢などの立ち居振る舞いについて。模擬面接(グループまたは個人)	グループ面接などの人数が多い場合も含めた、入退室の方法や、着席時の注意点、話し方などの面接時の見た目について理解できる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)SUCCESS別冊ワークシート集 SUCCESS PLAN (2)配布プリント		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
2年次は更なるスコアアップを目指す。1年次に習得したビジネス知識や、出題形式への理解を含めて、更に、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、実践的形式で行う。特に、強化した語彙力と基礎文法力をもとに、時間をかけずに解くべき問題が素早く正確に解ける技術の強化を図る。また、限られた時間内で正確に解く意識を授業内でも高めるようにし、タイムマネジメント能力も養う。	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470、プリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》ホテル業界での勤務経験のある教員が担当。TOEICによく出る文法事項の確認、授業内で単語テストを行い、頻出単語を覚える。リスニング問題の先読みをし問題を解く。また限られた時間内で素早く正確に解くことができるよう、毎回の授業でトレーニングを行っていく。文法事項の定着のため、自分たちで正答の解説を試みる。(アクティブラーニング)	【専門知識スキル】: 文法問題の解き方を覚え、またリスニングの聞き取るポイントを押さえ、時間内に素早く問題を解くことができる。各自の目標スコアが獲得できる必要な語彙力、リスニング力、文法力、読解力が身につく。【社会人基礎力】: 主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】: 積極的に授業に取り組む。テキスト、ノートは必ず持参する。【評価の観点】: ・出席率、授業態度、グループワークへの積極的な取り組みを重視し、かつ単語テスト、TOEIC公開テストおよびIPテストでの実績も加味する。【その他】: 単語テストは、授業開始時のみ実施。遅刻者や欠席者への振替は行わず、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【評価項目(評価の方法)】: 出席率-20% 授業への取り組み(Extensive Vocabularyを含む)-20% 単語テスト-20% TOEICスコア-40% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) TOEICの基礎知識と攻略法の確認 (3)Unit 7 vocabulary	TOEICテストのパートごとの基礎知識と攻略法の確認。Unit 7 P72のvocabularyの暗記	TOEICテストの基礎知識と攻略法。Unit 7に出てくる単語を覚える。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【授業運営方法】: テキストの問題を解き、英文の音読、会話練習やアクティブラーニングを行う。授業開始時に単語テストを実施。	授業時に提示	
2	Unit 7 確認一分詞	単語テスト。付加疑問文に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に確認する表現とその応答表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	単語テスト	
3	〃	単語テスト。分詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る分詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
4	Unit 8 留守電-スキヤニング	単語テスト。留守電に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。留守電の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
5	〃	単語テスト。スキヤニングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキヤニングを練習し、ダブルパスセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
6	Unit 9 アドバイス-受動態	単語テスト。アドバイスを求める表現のリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。アドバイスを求めたり、与えたりする表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
7	〃	単語テスト。受動態に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る受動態の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
8	Unit 10 誘い-比較	単語テスト。誘いの表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手を誘う時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	

9	"	単語テスト。比較に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る比較の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	"	"	"	
10	Unit 11 申し出ー関係詞	単語テスト。何かを勧める際の表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に丁寧に申し出る時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	"	"	"	
11	"	単語テスト。関係詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る関係詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	"	"	"	
12	Unit 12 講演者ースキミング	単語テスト。講演に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。講演時に使われる表現を覚え、内容の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くことができる。	"	"	"	
13	"	単語テスト。スキミングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキミングを練習し、トリプルパッセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	"	"	"	
14	文法のまとめ	単語テスト、品詞問題を解く	これまで出題した単語テストの語彙の復習ができる。TOEICによく出る品詞問題を素早く解くことができる。	"	"	"	
15	Post Test	Post Test	これまでの学習の復習を兼ね、本試験と同様のミニ試験を解き、自信の学習成果を確かめ、課題を見つけることができる。	"			